

不定形の愛で

かしいにや

粒も波もない昨日から記号へと転じる落下物の悲劇

粉々にして増やしてあげる夢と希望と君への下心

さようならさようなら来世よりこんにちはでも君とは逢わない

亀裂が生じて夏が来て大穴を開ける三月後の隙間産業

不要人間は何曜日ですかわかりました透明になります

思い出ポイ捨て懲役五年思い出処理場みつけたら教えて

愛が重いなら私はいくらでもあなたのために減愛するわ

指が二十もあるなんておかしいわ赤い糸を首にかけるの

普通と言ってこの形この音をあなたの普通で愛されたい

「ありがとう」あなたは言うけれど私に言わせないことを憎まない

高速回転する弾丸は真っ直ぐに無回転シュートの愛

このカクテルにチェレンコフ光がみえたら一晩だけの過ち

目で追うだけでは足りなくて耳も手も足もすべて捧げてもだめ

ベッドサイドにぬいぐるみを置くと聞いて私は腸を綿にする

殺意だけでは殺せないわどうか突き立てて噴き出す血を厭わずに

責任を感じるあなたに初めての「ありがとう」別れのあいさつ

自利利他と産声を上げるあなたの口をふさいで今日も「おはよう」